

平成24年度「山梨県男女共同参画審議会」議事録

1 日 時：平成24年5月14日（月）午前11時00分～正午

2 出席者

(1) 審議会出席委員（五十音順）

赤岡直人 有泉妙子 飯窪さかえ 小川はるみ 柿島美保子 萱原春美 小澤廣治
齊藤尚子 信田恵三 堀内詠子 松葉惇 矢崎元子

(2) 県側

横内知事 丹澤企画県民部長 河野企画県民部理事 小松県民生活・男女参画課長
県民生活・男女参画課職員

3 会議次第

(1) 委嘱式

ア 委嘱状の交付
イ 知事挨拶
ウ 委員紹介
エ 関係職員紹介

(2) 審議会

ア 会長の選任
イ 会長あいさつ
ウ 議事

(ア) 会長の職務代理について

(イ) 部会の設置及び部会委員の指名について

(ウ) 事業説明

a 第3次山梨県男女共同参画計画について

b 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する施策の実施状況について

4 委員の任命

・前委員の任期満了に伴い、新委員15名を任命

（任期：平成24年5月14日～平成26年5月13日）

5 会長の選任

・松葉 惇委員を会長に選任

6 議事の概要（議長は男女共同参画推進条例に第22条9項に会長）

(ア) 会長の職務代理について

〔会 長〕

山梨県男女共同参画推進条例第22条第8項の規定に、「会長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。」とあるので、会長の職務代理として、飯窪委員を指名する。飯窪委員、了承いただけるか。

〔委 員〕

了解する。

(イ) 部会の設置及び部会委員の指名について

〔会 長〕

山梨県男女共同参画推進条例第23条第1項の規定に、部会を設置することができることになっている。条例15条第3項により、男女共同参画推進に関する施策等について、県民又は事業者からの苦情があった場合の適切な処理のために調査審議の一部を行うため

のもの。今期も設置することでよいか。

〔委員〕
異議なし

〔会長〕
部会委員について、いかがするか。事務局に案があれば説明願いたい。

〔事務局〕
学識経験者と団体の代表から選出するということで、信田委員、栗田委員、有泉委員を提案する。

〔委員〕
異議なし

〔会長〕
それでは、事務局案のとおり3名選出とする。

(ウ) 事業説明

①第3次山梨県男女共同参画計画について ＜事務局から資料に基づき事業説明＞

〔会長〕
ただ今の事業説明「第3次山梨県男女共同参画計画について」質問、意見等いかがか。

〔委員〕
計画の実践にあたっては、県レベルというより市町村が積極的に取り組まないとなかなか上手くいかないと考えるが、小さい自治体になればなるほど組織だった取り組みが困難で、熱心な担当者ほど属人的になってしまう傾向があると思う。

〔事務局〕
おっしゃるとおりであり、やはり市町村ごとに進んでいる所と進み方がやや立ち遅れている所の差というものは感じている。県としてはその差が解消できるように、様々な研修会や情報を提供しているところではあります。

〔委員〕
「男女共同参画」という言葉が県民の中にどれくらい浸透しているか。もっと浸透させることが必要ではないか？

〔事務局〕
その件については普段から感じているし、県庁内でも浸透させたいと思っている。また、委員の皆様からもお願いしたい。

〔委員〕
町でもさまざまなイベントがあるが「男女共同参画」という言葉を表に出すと、どうも敬遠されてしまう。

〔委員〕

こちらでもそのイメージがあるのは否めない。男性を貶めて女性を上げるという感じに受け取られてしまっているようだ。そうではなく今まで一言も発せなかった女性が少しでも声を挙げる事が出来るようにしていただけないのだが

〔事務局〕

県庁内でもこれらの言葉に対して良くない感情を持ち、人によっては逆差別とまで感じてしまうこともあるようだ。まだまだ道半ばという段階であり、委員の皆様と一緒にどうすれば上手く行うかが今後の課題である。

②配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する施策の実施状況について
＜事務局から資料に基づき事業説明＞

〔会長〕

ただ今の事業説明「配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護に関する施策の実施状況について」質問、意見等いかがか。

〔委員〕

DVというのは受け取る側の問題ではないかと思う。受けている暴力がDVであるかそうでないかの判断さえ、地域の研修等でDVとはこういうものだと言われなければ困難だと思う。またDVが人権問題であるということもあまり広く知られてない実態がある。

〔委員〕

首長と会う機会があって今のDVの状況はどうですか？と尋ねたところ「幸いなことにうちでは報告を受けていない」と答えていたが、世帯数から見てもまったくないということは考えにくく、やはり表に出てくるDVというのは氷山の一角なのではないかと感じる。

〔委員〕

こういうことがかえってわかりにくくなったのは、特に都市部において核家族化等でコミュニティが機能しなくなっていることもあると思う。

〔事務局〕

県でも県政出前講座等で人権問題を扱うケースや、パネル展等も行えるということは市町村にも伝えてあり、そういうことで呼んでもらう準備は出来ているのでぜひ活用して欲しい。

〔会長〕

このメンバーでは初回であるにもかかわらず非常に活発な議論が出来たと思う。まだまだ伝えたい思いはあると思うが時間も過ぎているので議事を終了する。また次回以降もぜひお願いしたい。

〔事務局〕

以上で本日の男女共同参画審議会を閉会とする。